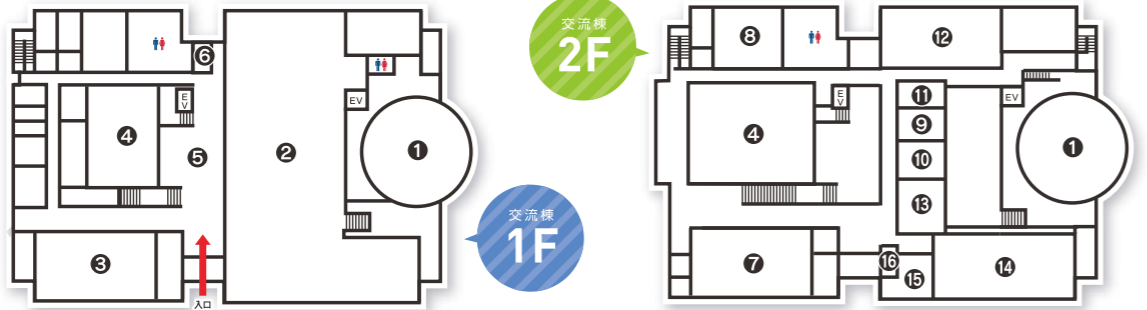


館内フロア案内
Floor guide



- ① 環境創造シアター
- ② 展示室
- ③ 会議室
- ④ ホール
- ⑤ 多目的ラウンジ
- ⑥ 売店
- ⑦ 学習室A
- ⑧ 学習室B
- ⑨ セミナー室A
- ⑩ セミナー室B
- ⑪ 特別室
- ⑫ 多目的会議室
- ⑬ キッズスペース
- ⑭ 観察テラス
- ⑮ 和室
- ⑯ 授乳室

開館案内
Opening Information

【開館時間】 午前9時から午後5時まで
【休館日】 毎週月曜日(ただし、月曜日が祝日の場合は翌平日)、年末年始(12月29日~1月3日)

貸出施設
Lending facility



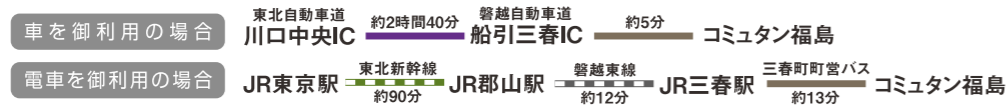
③会議室(約100名) ④ホール(194席) ⑫多目的会議室(約70名)
*利用料金、利用申込についての詳細は、ホームページをご覧ください。

フリー利用
スペース
Free use space



⑬キッズスペース ⑭観察テラス ⑮和室 ⑯授乳室

アクセス
Access

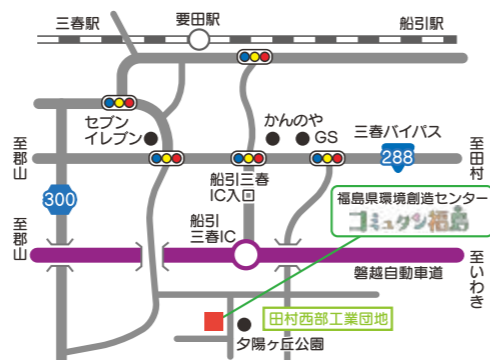
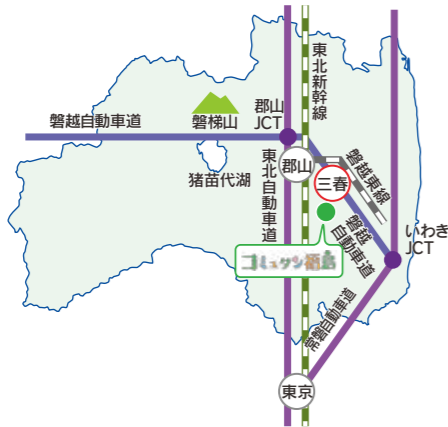


コミュタン福島をご利用の方はバス料金無料!

三春町町営バス時刻表

JR三春駅発	環境創造センター着・発	JR三春駅着
10:20	10:33	11:02
12:08	12:21	12:50
13:40	14:09	14:21
15:13	15:42	15:54

*三春の里、さくら遊学舎バス停を經由します。
*福島さくら遊学舎へはさくら遊学舎バス停をご利用ください。
*運行経路、運行時間等は変更になる場合がありますので、運行時間等の詳細は、次のホームページをご覧ください。
<https://com-fukushima.jp/information/access.html>



問い合わせ先 福島県環境創造センター交流棟 コミュタン福島
〒963-7700 福島県田村郡三春町深作10番2号(田村西部工業団地内)
TEL.0247-61-5721 FAX.0247-61-5727

コミュタン福島
<https://com-fukushima.jp>



福島のいまを知り、放射線について学び、未来を描く

コミュタン福島

体験 ガイドブック

COMMUTAN FUKUSHIMA
EXPERIENCE GUIDEBOOK





ふくしまの未来を描く。

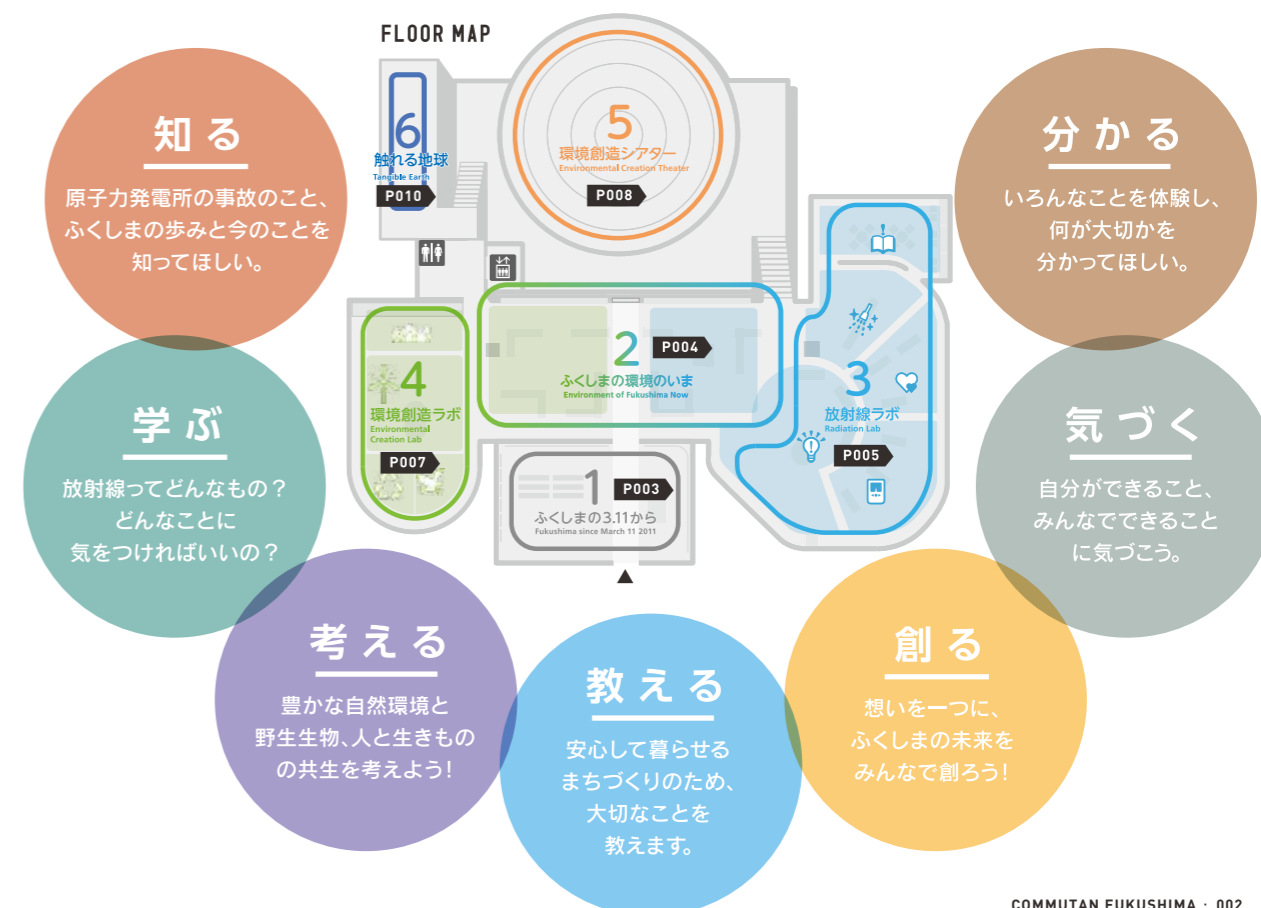
福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」(平成28年7月オープン)は、ふくしまの現状や放射線・環境問題について、体験型の展示や全球型ドームシアターなどで、楽しく学ぶことができる施設です。皆さまの不安や疑問に答え、ふくしまの環境の回復と創造への意識を深めていただき、また、それぞれの立場からふくしまの未来を考え、創り、発信するきっかけとなる場を目指しています。

名前の由来 Origin of name

交流棟の愛称「コミュタン福島」は、英語のコミュニティ(交流)と福島県のマスコットキャラクター「キビタン」を合わせた言葉です。交流棟が身近な施設として親しまれるよう平成26年度に愛称を募集し、1,612作品の応募から、県内の小学生が考えた「コミュタン福島」が、ふくしまの未来を考える対話や交流の場でもある交流棟の理念に合致し、親しみやすく、愛着を持ちやすいという理由で選ばれました。



コミュタン福島 みんなの思い



1 exhibition room

ふくしまの
3.11から
Fukushima since March 11, 2011



復興へ向かうふくしまの歩み

2011年3月11日金曜日、14時46分。大きな揺れと押し寄せた大津波。そこから始まるふくしまの原子力災害との闘い。その記録と記憶を振り返ります。

復興に向けて、みんながんばっているんだ。

映像でふくしまを知る



ふくしまの歩みシアター

大型映像でふくしまの原子力災害との闘い、復興へ向けた歩みを振り返ります。

模型展示で知る

事故後の福島第一原子力発電所

福島第一原子力発電所1~4号機とその周辺の事故直後の様子を、事故調査報告書などをもとに模型で再現しています。(1/350スケール)

ZOOM UP

現在までを時系列で辿る

2011.3.11 14時46分からのふくしまの歩み

2011年3月11日14時46分に発生した東北地方太平洋沖での地震、それに続く原子力発電所の事故。あの日、あの時から現在に至るまでのふくしまの歩みを辿ります。



当時の様子が新聞で分かる



新聞報道で振り返るふくしまの歩み

2011年3月11日、その日の朝刊にはいつも変わらない日常がありました。14時46分を境に一変するふくしま。地震、津波、そして原子力発電所事故からの復旧、復興、そして再生への足跡を、あの日の新聞報道から辿ります。

3月11日からの時間が刻まれている



3.11クロック

2011年3月11日14時46分からの経過時間。それはふくしまが環境の回復と創造に費やしてきた時間でもあります。ふくしまは、これからもその歩みを一歩ずつ進めていきます。

ふくしまの環境が分かる



環境“創造”のいま

『ふくしまの環境“創造”のいま』を数値やパネルを通して分かりやすくお伝えします。

工夫された展示でわかりやすい!



ふくしまの再生に向けて”ふくしまの今”を知る

原子力災害からの復旧・復興、そして未来に向けて、「環境回復」と「環境創造」を進めるふくしま。ふくしまの今のすがた、そして未来へとつながる現在の一步を知ってください。

知りたかった、ふくしまの今が分かる



環境“回復”のいま

『ふくしまの環境“回復”のいま』を数値や映像を通して分かりやすくお伝えします。

ZOOM UP

子どもたちのメッセージが読める



こどもたちのメッセージ

ふくしまの環境や未来に向けた子どもたちの想いが綴られたメッセージです。ふくしまの未来を担う子どもたちの想いを描きます。

未来へのメッセージ

来館者が自分の言葉で、新たなふくしまを創っていく決意を未来へのメッセージとして壁面に投影して発信します。



check!
引き出しの中にはもっと詳しい説明が!



2 exhibition room

ふくしまの
環境のいま
Environment of Fukushima Now



利用者の声

子どもたちには、福島の実況をしっかりと理解し、それを正しく発信していただけるようになってほしいと思います。環境創造センターでの学びは大いに役立ちました。
(小学校教師)



放射線について「知る」「測る」「身を守る」「除く」を学ぶ!

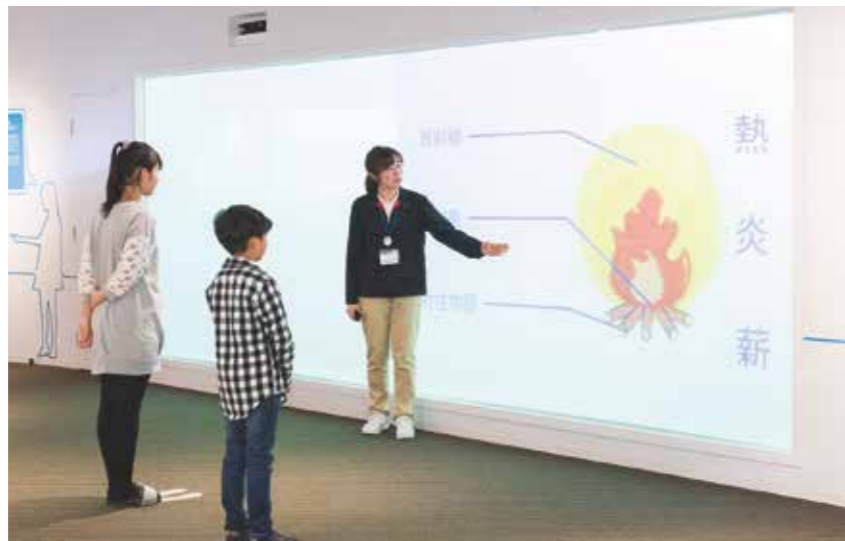
福島第一原子力発電所の事故以降、「目に見えない」放射線に関するさまざまな情報が溢れました。5つのラボで、放射線のことを知り、きちんと判断するための情報を見つけてください。



利用者の声

コミュタン福島で学習し、なぜ放射線の勉強をしなければならないのかを子どもたちが改めて知ることができたようです。また身近な食品等にも放射線があることや、福島県では農産物を検査したり住宅地を除染したりしていることが分かり安心してました。

(小学校教師)



体を動かしながら学べる

知るラボ

「放射線とは何か」を大型モニターや映像、装置などを使って分かりやすく伝えます。

◀放射線見える化ウォール

目に見えない放射線を身近なものに例えて学んだり、放射線の性質をゲーム感覚で楽しみながら学ぶことができます。



◀霧箱

放射線が通った筋筋に霧が発生し、その飛んだ跡を見ることができる装置です。



▲身の回りの放射線

日本人が1年間に受ける自然放射線量2.1mSvを1mとすると、胸部X線検査やCTスキャン検査、東京-ニューヨーク往復での被ばくはどのくらいの大きさになるのでしょうか。身の回りの放射線について、物の大きさに例えて分かりやすく比較できます。



放射線を測ってみよう!

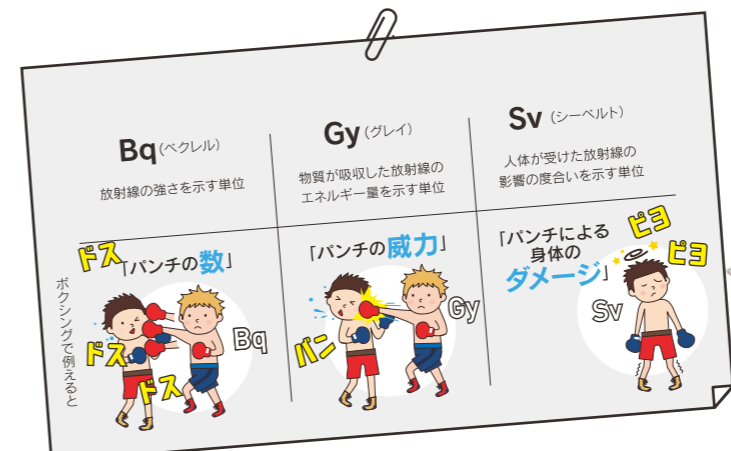
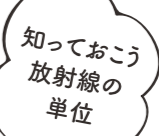
測るラボ

「測る」ことが放射線から身を守る第一歩です。空間線量のモニタリング、食品や水の検査など、私たちの身近なものの測定について紹介しています。



▲放射線測定マップ

福島県内の空間線量をリアルタイムで検索・表示することができます。過去の状況や国内外の空間線量と比較してみてください。



▲外部被ばくの低減三原則



外部被ばくを低減するための三原則である「距離をとる」「避へいする」「時間を短くする」を、実験できるハンズオン展示で学びます。

除染が分かる

除染ラボ

ふくしまの環境を一刻も早く元に戻すために行っている取組を紹介しています。

◀除染の流れ

身の回りの放射線量を小さくするためにされる除染の流れを模型やイラストで学びます。



クイズにチャレンジしよう

探るラボ

展示を通して学んだ知識でクイズに挑戦!放射線や放射性物質への不安、素朴な疑問に答えるコーナーです。



▲放射線測定器

実際に放射線測定器に触れて測定体験ができます。身の回りにある肥料、湯ノ花、花こう岩を測って比べてみてください。

環境創造ラボ
Environment Creation lab



原子力に替わる新しいエネルギーやエコについて考える

“原子力に依存しないふくしま”の実現へ。すでに始まっている取組がここにあります。環境創造をさらに進めるために、「自分にできること」「みんなでできること」を発見してみよう。

楽しみながら、資源の勉強ができる



循環型社会
において
私たちが
できること

まだ使えるものは資源として再利用することで、ごみを減らし、環境への負荷を減らすことにより、地球上の限りある資源を大切にできる社会のあり方を勉強できます。

エネルギーについて考えよう



再生可能エネルギーを知る、学ぶ

今、注目されている太陽や風、水、地熱などの自然の力から得られるエネルギーの重要性について知ることができます。

動物の行動、生活を知ろう



私たちとつながっている
ふくしまの自然環境

福島県には豊かな自然環境があり、たくさんの野生生物が生息しています。野生生物の行動を知ることによって人間と生きものの共生を考えます。



利用者の声

福島県では、原発に頼らない再生可能エネルギーの開発に力を入れていることや、再生可能エネルギーには、風力発電や太陽光発電以外にも地熱発電やバイオマスエネルギー等たくさんあることを教えていただき、福島県の人たちの復興に向けての頑張りを感ずることができました。

(小学校教師)

タッチしてみても
ふくしまの未来が見れる

探検!ふくしま
環境創造タウン

「ふくしま環境創造タウン」はちょっと先のふくしまの暮らしを描いたまちです。このまちの住民になって、未来のふくしまを創造し、自分に何が出来るかタッチパネルで学べます。

ZOOM UP



環境創造シアター
Environment Creation Theater



空を
飛んでいる
ような感覚に
なるね!



大迫力の全球型ドームシアター

ふくしまの新たなステージへ。
放射線ラボ、環境創造ラボで学んだことを振り返り、あらためて、
これからのふくしまの未来を考え、創るきっかけとなしてほしい。それが環境創造シアターです。



利用者の声

環境創造シアターは大迫力で子どもたちは大興奮でした。あの美しい映像から福島県の自然の美しさや人々の温かさを感じることができました。

(小学校教師)

放射線の話 [身近な視点から放射線についてアプローチ]

放射線は目には見えませんが、私たちの身の回りに確かに存在します。
「放射線とは何か?」「体にどんな影響があるのか?」放射線について分かりやすく紹介します。

SCENE.1 『宇宙からの放射線』

放射線は目には見えませんが、宇宙にはたくさん飛び交っています。



SCENE.2 『自然の中の放射線』

私たちは太古の昔からの放射線に囲まれてきました。



SCENE.3 『放射線って何?』

放射線は小さな粒子が持つエネルギーと電磁波の2種類あります。放射線には、ものを通り抜ける性質があります。



SCENE.4 『人工の放射線』

福島第一原子力発電所事故により放射性物質が発電所の外に放出されました。私たちの生活空間の放射線の量を少なくするために除染が行われてきています。

SCENE.5 『エピローグ』

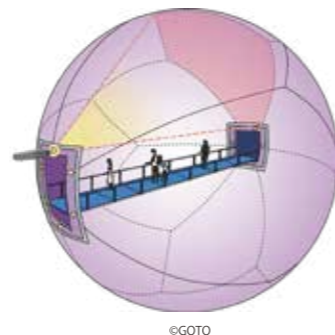
人類は昔から自然放射線の中で暮らしてきました。放射線について学ぶことは、自然との共生、人類の未来を考える上で重要です。



映像と音に包まれる 全球型ドームシアター を体験しよう!!

「環境創造シアター」は、直径12.8m(実際の地球の100万分の1の大きさ)の球体の内側すべてがスクリーンになっていて、360°全方位の映像を体験できるドームシアターです。

2005年「愛・地球博」の長久手日本館で人気を博した「地球の部屋」が「シアター360」として国立科学博物館に移設されました。「環境創造シアター」は「シアター360」と同じサイズの全球型ドームシアターで、福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」に設置されました。



©GOTO

福島ルネッサンス

『『ふくしま』の美しい自然と豊かな文化を伝える』

ふくしまには四季折々の素晴らしい自然と長年受け継がれてきた伝統の祭りや文化があります。私たちは過去から引き継いだこの美しい自然や豊かな文化を守り伝えていかなくてはなりません。

SCENE.1 『Legacy (遺産)』

ふくしまの自然や文化の壮大さ、美しさ、多様さを描き出し、受け継いできたものの豊かさ大切さを伝えます。



SCENE.2 『Renaissance (復興)』

福島第一原子力発電所事故からの「復興」へ向けた様々な取組や、悲劇に負けずに立ち上がったふくしまの姿を描きます。また、除染活動や農業、漁業、祭りの様子、再生可能エネルギー等の映像を通して、ふくしまの今と未来を表現します。



SCENE.3 『エンディング』

大自然を俯瞰する映像や子どもたちの笑顔に取り囲まれる映像により、ふくしまの未来を明るくしていく「希望の光」を表現します。



宇宙からみた地球環境

漆黒の宇宙に青く輝く地球。太陽からのちょうど良い距離など、いくつかの偶然が重なって生命があふれる環境となりました。海洋、大気、気象などに関する様々なデータが、地球がどのような惑星であるのかを示してくれます。宇宙的な広い視野で地球の環境問題を考え、かけがえのない私たちの故郷について見ていきましょう。



「福島ルネッサンス」がドームフェスタで会場賞を受賞しました。

福島県の美しい自然や豊かな文化、原子力災害からの復興や未来への希望を描いた「福島ルネッサンス」が、2019年2月に東京で開催された国際科学映像祭「第9回ドームフェスタ」のショートフィルムコンテストで、観客の投票により選ばれた「会場賞」を受賞しました。

「ドームフェスタ」は世界的な注目度も高く、国内外から選りすぐりのドーム映像作品が集まる中、参加者の皆様からの支持をいただくことができました。

📺 国立科学博物館オリジナル番組

福島県環境創造センターと国立科学博物館は、連携・協力について協定を結んでおり、コミュタン福島で国立科学博物館オリジナル番組を体験することができます。



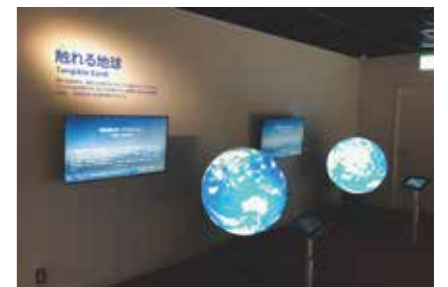
6 exhibition room

さわ 触れる地球

Tangible earth

惑星”地球”の鼓動を体感

触れる地球は、地球上の様々なできごとに触れることができるデジタル地球儀です。私たちが生きている惑星”地球”の鼓動を体感し、地球目線で未来を考えてみましょう。



学校用体験研修メニュー(小学校 等対象)

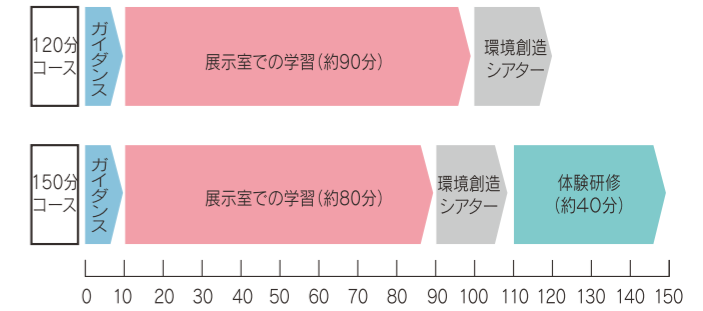
平日
学校向け

コミュニティ福島では、主にふくしまの未来を担う子どもたちが「放射線や福島県の環境等について学び、自ら考え、主体的に判断し行動する力」や「福島県の状況を適切に理解できる力」を身につけるために、展示、体験研修スペース等を活用した学習を提供しています。

※掲載メニューは一例です。詳しくはコミュニティ福島ホームページにてご確認ください。

学習タイムテーブル

下記の標準タイムテーブルを基本として学校のご都合・ご要望に応じて調整します。



コミュニティ福島の活用について



福島県教育庁義務教育課
指導主事
國井 博氏

福島県では、東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故における経験を教訓に、「福島ならではの」放射線教育を展開するため「放射線等についての科学的な理解」を基に「福島(ふるさと)の過去に学び、現在を見つめ、未来を切り拓く」問題解決的学習を推進しています。また、今後は地域社会の現状に目を向けながら、これからの社会づくりに貢献しようとする態度を身に付けることができるよう、地域や関係機関と連携しながら取り組んでいくことが重要です。

福島県環境創造センター(コミュニティ福島)は、放射線や原子力発電所の事故等を学ぶことができ、本県だけでなく全国の学校で活用できる施設となっています。県内外を問わず、各学校が地域と共に学び、現状と向き合いながら「よりよい明日」を、さらには「新しい未来」を創造する子どもたちの姿を求めて、ぜひコミュニティ福島を御活用ください。(2018年6月)

放射線教育に役立つ各種資料やコミュニティ福島と連携した実践等を福島県教育庁義務教育課のWebサイトに掲載しています。
こちらをご覧ください、積極的な活用をお願いします。
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70056a/>



放射線

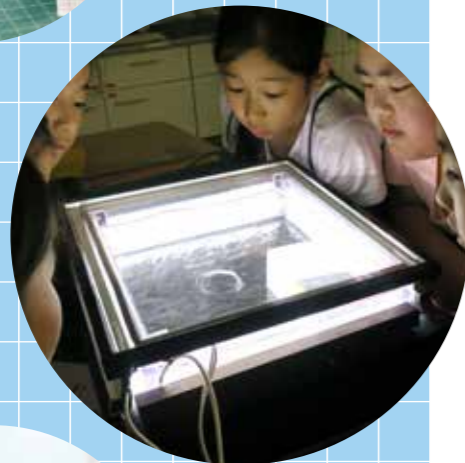


身の回りのものを測定してみよう

放射線測定器(GM計-A'メーター)を用いて、身の回りのものから放射線が出ていることを確認し、自然放射線の存在について学びます。

霧箱で放射線の性質を確認しよう

霧箱を使って放射線が通る様子や放射線の数が時間と共に減少する様子を観察しながら放射線の性質について学びます。



放射線から身を守る方法

物体を通り抜ける放射線や線源から離れた場所の放射線の量(数)を測定し、放射線の透過力と減衰について学びます。



新エネルギー



風力発電の仕組みを学ぼう

モーターと羽を組み合わせた簡単な装置を使って風力発電の仕組みを学びます。



光で電気をつくろう

太陽光パネルを利用し、発電量と光の当たり方の関係について学びます。

燃料電池を試してみよう

電気の大切さと、次世代の充電方法である燃料電池について学びます。



自然環境



植物の知恵・飛ぶタネをつくってみよう

植物の子孫を残す様々な工夫について学び、その一つとして風を利用して飛ぶタネの仕組みを考えながら、実際に模型をつくり、飛び方についても体験します。

「ろ過・凝集沈殿」で水がきれいになる仕組みを学ぼう

実験を通して安全な水道水になるまでの仕組みや森の浄化作用について学びます。



牛乳パックで、自分だけのすてきなハガキをつくろう

牛乳パックを再利用して紙すきを行い、野の花などで飾りを付けたハガキづくりを体験し、リサイクルについて学びます。

※乾燥まで時間がかかるため、少人数(12名以内)での活動となります。



コミュニティラボ

体験プログラム

「見る」「測る」「作る」がみんなで体験出来る!

※掲載メニューは一例です。詳しくはコミュニティ福島ホームページにてご確認ください。



霧箱で放射線の性質を確認しよう!

霧箱を使って放射線の飛跡を観察し、放射線の種類や性質について学びます。



どうして地球が温暖化するのか確かめてみよう!

地球温暖化について、その影響と原因、私たちができることを身近な例で考えながら実験を通して学びます。

テーブルサイエンス



紫外線で色が変わるアクセサリーをつくろう!

紫外線によって色が変わるふしぎなビーズを使って素敵なアクセサリーをつくります。どんな色に変わるかはつくってからのお楽しみ! 楽しみながら光の性質について学びます。



偏光板でステンドグラスをつくろう!

半透明シートにセロハンテープを重ねて貼り付け、偏光板のあいだに挟んで回転させると、ステンドグラスのような美しい模様! 光の屈折について楽しく学びます。

コミュニティクラフト



芳香剤をつくろう!

水を吸収してふくらむ高吸水性樹脂の性質や身近な使用例を学びながら自分だけの芳香剤をつくります。



ゴムで動くおもちゃをつくり競争させよう!

輪ゴムで動く紙コップや風を使ったおもちゃをつくります。うまく動かすために仕組みを学びながら工夫して完成させます。

サイエンスショー



液体窒素でひえひえ実験!!

テレビでおなじみの、とっても冷たい液体窒素を使って、定番のお花から珍しいものまで色々なものを冷やします!

コミュタン福島 周辺ガイド



01 天然記念物 三春滝桜

日本三大桜のひとつ。樹齢1000年を超える巨木に可憐な花が誇るさまは、見る者を圧倒する美しさ、4月中旬から下旬が見頃です。

- 三春町大字滝字桜久保
- 観桜料/300円(中学生以下無料。団体割引はありません)
- 滝桜大駐車場/850台(大型駐車可)
- 駐車料金/無料
- (株)三春まちづくり公社 ☎0247-62-3690



02 三春きたまち蔵

まちの新しい観光案内所。蔵を利用したつくりで、街なかの観光案内を一手に引き受けます。敷地内にある観光案内所の「TENJIN」の名前の由来は北野神社の天神様から。

- 三春町字北町10
- 営業時間/9:00~17:00
- 定休日/年末年始
- (株)三春まちづくり公社 ☎0247-62-3690

03 三春町文化伝承館

明治期に生糸貿易で財を成した商人が贅をこらして建てた旧宅を保存・整備し公開しています。特に蔵座敷「紫雲閣」からの眺めは素晴らしいです。

- 三春町字大町82
- 営業時間/9:00~16:30
- 定休日/月曜日・国民の祝日の翌日 年末年始
- 三春町歴史民俗資料館 ☎0247-62-5263



04 三春町歴史民俗資料館・人形館

三春の先史から近代にいたる考古、歴史資料、城下町や近郊農村の民俗資料を常設展示しています。近代の自由民権運動を顕彰する記念館も併設しています。

- 三春町桜谷5番地(人形館:三春町字大町30)
- 営業時間/9:00~16:30
- 定休日/月曜日・年末年始(冬期は土日・祭日のみ閉館)
- 三春町歴史民俗資料館 ☎0247-62-5263

07 三春ダム資料館

ダムの役割やダム周辺地域の紹介などを映像や模型を使って説明しています。また、見学者のための休憩、喫茶軽食売店のコーナーもあります。

- 三春町大字西字中ノ内403-4
- 営業時間/9:00~16:30
- 定休日/年末年始
- 三春ダム資料館 ☎0247-62-3145



05 空想とアートのミュージアム 福島さくら遊学舎

廃校となった旧さくら中学校を活用したアニメーションミュージアム。常設展の運営以外にも様々なアート作品と連動した企画展他、ワークショップを企画。県内のみならず県外に向けてアニメ文化を発信していく施設です。

- 三春町大字鷹巣字湖山213番地
- 開館時間/10:00~17:00
- 定休日/不定休
- 福島さくら遊学舎 ☎0247-61-6345



06 三春の里田園生活館

地元の素材を使った食品の加工・販売や食事処、農産物を直売する「カゴ市」のほか、入浴や宿泊施設も備え三春の暮らしが満喫できます。

- 三春町大字西字石畑487-1
- 営業時間/施設により異なります
- 定休日/年中無休
- 三春の里 田園生活館 ☎0247-62-8010



14 星の村天文台

福島県の中でもとりわけ美しいといわれる阿武隈高原一帯の澄み切った空は、「天体観測の宝庫」と称されています。

- 田村市滝根町神保字藤塚60-1
- 営業時間/10:00~17:00
- 定休日/4月~9月まで:毎週火曜日 10月~3月まで:毎週火曜日、水曜日
- 星の村天文台 ☎0247-78-3638

08 BRITOMART

旧三春ハーブ花ガーデンがリニューアル。敷地の中には様々な形の『モノづくり』をする店舗があります。レストラン、スイーツ、ベーカリー、焙煎コーヒー、家具であなたの生活をちよっと豊かに。

- 三春町大字斎藤字仁井道348-4
- 営業時間/10:00~17:00
- 定休日/3月~11月末:年中無休 12月~2月末:毎週火曜日
- 株式会社キオラガーデン ☎024-954-7042



09 船引町(屋形・朴橋・堀越) お人形様巡り

船引町芦沢地区の屋形と朴橋、堀越地区の3ヶ所にあり、毎年4月に衣装替えと化粧直しをする「衣装替え」が行われる。

- 田村市 観光交流課 ☎0247-81-2136

11 高柴山

山ひとつが丸ごとつつし園です。毎年5月下旬になると山頂一帯が赤いじゅうたんのようなヤマツツジで覆われます。

- 田村市 観光交流課 ☎0247-81-2136



13 あぶくま洞

およそ8,000万年の歳月をかけて創られた大自然の造形美。様々な形の鍾乳石が見ることができ、その多様さは東洋一ともいわれます。

- 田村市滝根町菅谷東釜山1
- 営業時間/8:30~17:00 (季節によって変動あり)
- 定休日/年中無休
- あぶくま洞管理事務所 ☎0247-78-2125



10 たむら八彩カレー たむらご当地スイーツ「北醇」

たむら八彩カレーは地元産の食材を8種類以上使用した新ご当地カレー。たむらご当地スイーツ「北醇」は酸味と高い糖度が特徴の山ブドウ「北醇」を使用。両者とも田村市のご当地グルメとして愛されています。

- 田村市ご当地グルメプロジェクト(レストランルフィン) ☎0247-82-0679



12 入水鍾乳洞

国の天然記念物に指定されている、本格的なケイビングの醍醐味が味わえる鍾乳洞です。全長900mの狭い洞内は、入口から最奥部まで3つのコースに分かれていて、冒険心をくすぐるアドベンチャーワールドです。

- 福島県田村市滝根町菅谷大689-3
- 営業時間/8:30~17:00 (季節によって変動あり)
- 定休日/年中無休
- 入水鍾乳洞管理事務所 ☎0247-78-3393

三春グルメンチバーガー

「三春グルメンチ」をさんだ「三春グルメンチバーガー」はコミュタン福島売店にて販売しています。「三春グルメンチ」は、三春町のやわらかくてとってもおいしいピーマンと愛情がたっぷり詰まったメンチカツで、それをふわふわのパンズで挟んだのが「三春グルメンチバーガー」です。

- 販売日/土曜・日曜・祝日のみ販売(平成30年8月現在)
- 価格/350円

